京城新報

人の一生は重荷を負て遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價　一枚金二錢▲一ケ月前金卅五錢▲三ケ月前金壹圓▲六ケ月前金貳圓▲郵稅一ケ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六二）
發行所　京城新報社

雜報

國士金玉均氏（十一）

李鴻章に送りし書（承前）

殿出等の事を以て之れを論ぜば彼の事大黨と奸黨との陰謀輕先我が王宮に向ふて暴發するに係る一時族を匿すの机は激して戰爭の場と成り彼輩己れの罪を掩ふに急なり我王の聖心を誣惑し慈惠玉均の非を誣揑し此を以て閣下に聞けるもの閣下其れ眞に之れを信ぜんや（畧）玉均一たび刺を閣下に謁び時勢の艱難を痛論せんと欲す頃かに奸小の輩に多方計を設けられ竟に沮絕に至る嗟乎言ことを念ひ勢を計り袖手坐視するに堪へず乃ち權りに激切の事を行ひ救急の策を圖るを爲す胸算の如きに至りては展布するに及ばずして旋々小兒輩に事を敗られ大事中途に瓦解す痛歎に勝ふべけんや閣下の明を以て亦聽に默會する者ありて存すべし（畧）閣下老練の手段を以て善隣友睦の誼を盡し固より輔車の盟を結び以て東亞の政畧を展ぶれば則ち此の朝鮮の幸のみならず恐らくは亦貴國の策たり閣下又以て如何と爲す玉均已に世に困ず復た天下の事を論ずるを欲せず然れども初志を回憶すれば愈々此に至て疲るゝを知ざる也（以下略）

其後金玉均は小笠原島に移されしが夫れより刺客の兇刄に殪るゝに至りし迄の經歷は多く世に知られたる事柄なるを以て之れを畧す（完）

漢城より

北韓山生

（五日）

▲我政府は滿洲の正金銀行、東洋拓殖會社、及韓國銀行（或は臺灣銀行をも）合併したる大銀行を設立し、紙幣發行其他有らゆる銀行業務を營ましめ、其の本據を韓國又は滿洲に置き、各地支店制度により十分活動せしむることになさんとて目下調査中なりと、日本の新聞に記載有之候。

▲吾等は理想として斯る報道に接するを慊ぶと共に、其の理想の徐怨として未だ其の時機ならざるに實現せらるゝことの無かるべしやを虞るゝものに候何どなれば件の大殖民地銀行が豫期否誤想の如く十分の活動を爲し得べき時節の到來は蓋し甚だ近からざる未來の事に屬すべければ也。

▲斯く云へばとて現に滿韓各地に於ける資本が潤澤なりとするには非らず、唯資本の放下を難しと爲す也、固より資金潤澤なれば生產の事業を誘起するに至るは自明の理なり、然れども我日本の經濟界は必要に依て資金を誘致する以上の潤澤を見ざるなり、生產の事業發達せざること斯くの如くにして、大資本を堆積する程の餘裕は無き筈なればなり、否らずんば東拓に三十萬の利子補給無用事たるべければ也。

▲一方先づ韓國に就て云はんに、多くの銀行は貸出しの少きに困じ居れり、假し之れを一時的の現象に過ぎずとするも各銀行の本店なり韓國銀行をして辟易せしめん底の資本の出動は先く夢の沙汰なるべく信ぜられ候。

▲厭な例ながら東拓は今寨定款を改正され金融部は大に活動の地を有するに拘はらず本年上半期間の貸出は僅かに七萬餘なりと聞く、是れ無擔保貸出しは即ち之れを爲せども無信用貸出は之れを爲す能はざるが爲めならん乎、各銀行の貸出少きも亦同樣の理由ならんと思はる。

▲次に滿洲とて韓國と幾許の差あるべきぞ、豆糟こ、鹽と而して滿鐵の工事請負人とが莫大の資本を運轉し得るものと思はゞ愚の沙汰なるを免れざるべし

▲要するに理想は別として、大銀行設立の必要若し有りとするも南滿洲は北滿洲により多くの變涉を有するの時、且つ鐵道沿線以外の地に多くの日本人を移植し得たるの曉に至りて或は其の之れ有るも知れねど、韓國に於ては何は兎もあれ土地調査局の事業終局を告げたる後にして始めて韓銀すら較自由手腕を揮ふを得る程の時代に到達すべきに於て、今將た何の見る處ありて大銀行呼ばりをするものぞ、怪しうも候

▲但し政府が大銀行を設立し利子何百万圓也を補給して、銀行をして、無信用貸出を爲さしめんとするものならんには吾等還た何をか云はん、若又今より調査に着手して五年、十年の後を圖らんとするものならば、幷も亦御勝手たるべし、



◎新刊紹介

▲實業之日本（十三卷十六號八月一日發行）韓國に關する記事には目賀田男の「北韓の世界的商港淸津の活動に注目せよ」あり（東京京橋南紺屋町一二同社十二錢）

▲婦人世界（五卷九號八月一日發行）同上十五錢

▲少女の友（三卷九號八月一日發行）同上十一錢

地方通信

▲平壤通信

▲大同江水路調査　關稅局巡邏船第三號は鎭南浦より三日午前十一時大同江入港同乘組員關稅局海事課長木下技師同鎭南浦稅關熊野技手其他は專ら當大同江水路の調査に從事しつゝあり

▲平壤驛營業比較　平壤驛に於ける七月中の營業成績を聞くに昨今同月中に於けるものに比し著しく好況に向ひつゝあり同月中の旅客乘車人員五千四百五十三人同降車人員五千六百九十二人入場人員四千百六十七人發送小手荷物斤量二万千八百七斤同到着噸數五萬八千七百八十三斤客車收入一萬二千二百三十七圓十二錢貨車收入一万八千六百七十三圓六錢發送噸數一萬一千九百二十六噸到着噸數三千百九十六噸前年同月中に於けるものに比し乘車人員に於て七百一人降車人員に於て二百七人入場人員に於て千二百四十六人發送小手荷斤量に於て五千六百七十九斤到着小手荷物斤量に於て一萬六千八百七十五斤客車收入に於て二千二百十一圓十三錢貨車收入に於て九千百九十一圓五十九錢發送噸數に於て八千四百九十四噸到着噸數に於て一千百六十噸の增加なるが右の內貨物發送噸數の本年著しく劇增したるは無煙炭及平南線其他の工事材料等の輸送ありたるに因ると云ふ

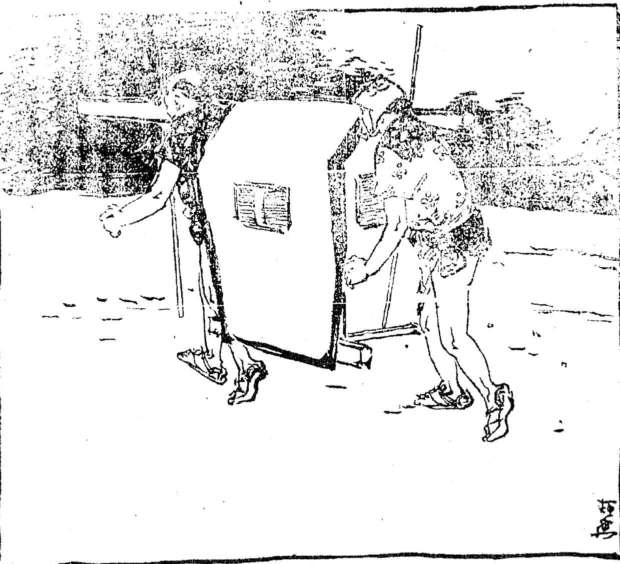
▲稅關收入統計　平壤稅關出張所に於ける關稅收入額を聞くに七月中の輸出稅金額は百五十三圓敷料卅錢同輸入稅金額は六千九百卅二圓卅錢計七千八十六圓六十錢同所借庫十四圓二十二錢保稅倉庫敷料一圓七十七錢合計十五圓九十九錢總計七千百二圓五十九錢本年一月より七月末日に至る輸入關稅金額は五萬八千三百十五圓八十七錢同雜收稅金額は百十六圓三十五錢なりと

講談　越後傳吉

大岡政談　第四十二回

旭堂南講演

興「よし〳〵、乃公がこゝに七十兩あるから丁度百兩になる、サア小旦那これの金は上げるんぢやアございませんの、お前さんの三百兩の金が戻つて來ましたら直ぐ返却して貰ふんで　傳「アゝそりやア返却しますだ　興「必らず返却して貰はなくちやア困るんだ、ろの替り彼奴等を思ふ存分に懲してやりますね　へ小旦那、慈悲の眼に憎しと思ふものはない罪ある身こそ憫然なりけれ　彼奴等ア淺圖しい奴ですね、眞個に今に小旦那面白いことをして御覽に入れます」百兩の金を貰つて駕籠を拵へて貰ひ、傳吉急いで戻つて來ました、戸外へドンと駕籠が下りると、待て居たといふやうにバラ〳〵と飛出したのは　早「傳吉どんや、どうしたね三百兩のお金は――　傳「ハイ、もうお母さん駄目でがす、私の從兄弟の彌藤次だといつて證文と櫛、越後縮を二反持て金を受取つて歸りました　早「マア〳〵傳吉どんエライ事になつたわ、それぢやアお前が三百兩の金を貯めたのは皆無くなつたので　傳「ハイ　早、何うしたら宜いだらうね傳吉どん、困つてしまふね、眞個にマア何うしませう　傳「イヤお母さんもう奪られたものは私の身に添ふて居ない金でございますから仕方がございません　早「そんなことをいつたつて傳吉どん、妾の方には借金もあるんぢやアないか　傳「イエお母さん、夫れは御心配下さいますな　早「實はねお前が行た跡で庄屋さんの方へ行つて妾が頼むと、ヨシ一番ウンと調べてやらうといひなさつたけれども、何うも仕事の樣子を見るところ泥棒は餘つ程黑人らしいから大分遠く走つてるようだ、事によつたら捕まらぬから斷念なきやア仕方がないだらうと斯らいひなすつたわ、傳吉が腹の中で　傳「ようこない中村屋のいふたことに合ふなと思ひながら　傳「ハイお母さん、お梅一寸此所へ來い　梅「ハイ傳吉つアん、何うするんだねお金が無くなつたら――　傳「實はお母さん、私いマア三百兩の金を奪られましたのは、眞個に情けなうございますが、併しマア私の身に添はない金だ、途中で旅偸盗にさへ奪られやうとした金ですからよく〳〵私の身に着かぬ金で仕方がムいません實はお母さんにもお梅にもいはぬ金が百兩ございます　早「エッ傳吉どんまだ百兩あるのか　傳「ハイ、四百兩の中の金が三百兩無くなりました、これは私の肌附の金でがす　早「マア〳〵傳吉どん大變に儲けたんだね　傳「百兩くらゐぢやア仕樣がございませんから名主樣の方へ十五兩といふ借金があればその借金を拂ひ、お前さんに五十兩の金を預けまして殘金が三十五兩、私イ二十五兩もあれば路銀は澤山でがすからもう一度江戸へ行きまして、三浦屋さんの家へさへ行つたら手を受けて待つてゝくれます、ナーニ貴女一度儲けたところでがす、今度行つたら又二三年の中に二百や三百の金を儲けるのは何でもないことだ、私が行きますのは吉原といふ遊び場所、金の生る木が植つて居りますから、もう一度江戸へ行つて金を儲けて來ます、どうぞお母さん、三四年の間辛抱して下さい、親子の者は顏と顏とを見合つて巧く行つた、思ふ壷に陷つたわいとニヤリと笑つた、傳吉は與兵衛にいはれた通りに述べて、斯ういふたらどんな顏をするだらうと思つて二人ながら笑顏　傳「ハヽン、中村屋さんのいふ通りだ一々傳吉感心しました　早「そりやアマア傳吉どん感心な人だね、お梅、傳吉は甲斐性者だわ、また三四年江戸へ行つて金を儲けて來るんだといふてだもの、傳吉どんそれぢやあね、お前の儲けたとこなんだから、そんな良い場所があつてこの村で稼いでるのは馬鹿々々しいから、それおやあ仕方がない、もう三四年御苦勞に與からうか　傳「ハイ宜しうございます、造作はございません行つて參りますから、そこでお母さん　早「ハイ　傳「私ももう今度は一ッ潔ぎよう行きます、村へ歸つたかと思ふたら又立つんでがすから、明後日は一ッ村中の人を皆集つて貰ひたいもんでがす　早「ハイ　傳「大振舞をいたしませう



東京電報

▲伊藤次長奏上　韓太子に隨行したる伊藤式部次長は本日參內拜謁仰せ付られ韓太子御還啓に關し奏上したり（七日）

▲我滿洲移民策　日露協約對抗運動として清國政府は滿洲に南清の農民を移住せしむる計畫を建てたる由同地の移民は我當局者も夙に着目し夫々調査する所ありたり然れども同地方は多年經驗ある土着農民と競爭して勝ち得るや頗る疑問なる上幾年間保護金を交附する要あり爲めに移民獎勵の運びに至らざりしも清國政府の新畫策に對して相當の注意をなし更に邦人移民に就て調査を遂げ農業移民困難なる場合には工業移民の獎勵を爲すべしと（同上）

▲南極探險航路　白瀨中尉の南極探險豫定航路は已に發表されたるが今回變更し八月十五日永代橋を發し南太平洋を橫斷しロス海に入り東徑百五十度即ちエドワード七世灣の中間なる東徑百六十度附近に來春一月上陸し所定の行動を取る筈同所は英國スコット大佐の上陸地點なる東徑百四十度と少しく隔たり上陸地點に付き何等國際的關係なく又學術上にも研究をなすにも利益多ければ斯く變更したる次第なり（同上）

▲日露鐵道會議　白耳義にて開會の大陸旅客運絡會議の爲め中止せられたる日露鐵道連絡會議は本月十四日より再び開會し先づ前會議に於て未解決の儘取殘されたる滿鐵對東清間特設運賃の協定を爲し終つて鐵道院と商船會社と運絡協議を爲し鐵道院と商船會社と露國間に於て特定運賃の協定を爲す筈也（八日）

▲人權蹂躪制裁　政友會は官吏の人權蹂躪制裁法案を今期議會に提出するに內定せり（同上）

▲警官合祀交涉　陸軍將士と共に生蕃と戰ひ戰死したる警察官の靖國神社合祀は其の規程なきを以て內務省にては是非此の忠勇義烈なる警察官も武官同樣靖國神社に合祀せんとの希望を以て過般來平田內相は寺內陸相と協議中なるが寺內陸相の同意を得次第賢き邊に奏上し御裁可を待つて發表すべし（同上）

▲英艦隊の訪問　英國東洋艦隊は威海衞より日本海を經て九月二十三日橫濱に入港すべし（同上）

▲韓留學生嚴戒　韓人留學生中には悲憤慷慨の言論に耽り歸國學生と聯絡を通じ不穩の擧動あるを以て警視廳の警戒嚴重なり（同上）

▲清公使外相訪問　六日着京したる清國公使王大燮氏は今八日午前十一時小村外相を正式に訪問し着任の挨拶を爲したり（同上）

▲日醬重役提出金　日本醬油釀造重役一百萬圓提出の件に關し田島社長は六十萬圓迄提出する事を內諾したり（同上）

▲文藝院設立經營　文藝院設立に就ては曩きに文部省に於て種々調査中なりしが此の程具體的成案を了し愈々來年度豫算に其の經費として三万圓を計上せり（同上）

大連電報

▲滿洲馬賊出沒　滿洲に於ける馬賊は昨今滿鐵沿線に出沒し安奉線工事請負區に於て財貨を掠奪するを以て日清兩國官憲は嚴重に警戒し居れるが昨今滿洲一帶雨期に入り加之高粱の繁茂せるを利用し出沒し居れり（八日）

德壽宮の御陪食

七日正午寺內統監は大久保軍司令官山縣副統監有吉總務長官石井外波の兩武官國分兒玉の兩秘書官藤田大尉及び十時軍司令官副官等帶同德壽宮に參內したり是より先き太皇帝には韓服を召させられ轎輿に乘して約二丁程隔りたる惇德殿に出御閔宮相小宮次官金中樞院議長閔種默金聲根の兩元老李親衛府長官尹侍從院卿趙承寧府總管金侍從長高禮式課長及び侍從李恒九等を率ひて寺內統監大久保軍司令官の參內を迎へられ同殿に於て洋食の御陪食仰付られたり太皇帝には頗る打解けられ寺內統監大久保司令官山縣副統監に對して皇太子の御消息やら宮殿の御事やら四方の語り草に終始御如才もなく御機嫌に涉らせ一時四十分頃入御遊ばさる統監は夫より先頃竣成せし石造の洋館宮殿を觀覽二時過ぐる頃歸邸せられたり此日嚴妃には太皇帝と共に惇德殿に成らせられしが御陪食の席には列せられず別室に於て女官等と共に午餐を召されしと漏れ承はる

韓人と通信機關（光化門局長の談）

韓人が通信機關を利用することは日に月に多きを加へ來るの傾向なるは全く其の便利なるを普知の結果なるは勿論なるも通信合同後に於ける日本政府の施設を確實なることに信賴の度を增すが爲にして昨四十二年七月中に於ける爲替取扱數を見るに振出口數は一千三百九件金額四萬八千四百四十五圓九十二錢にして本年七月中に於ける取扱數は振出口數に於て一千三百七十五件金額三萬六千六百十九圓廿六錢是れを比較せば振出口數に於て七十を增し金高に於て一万一千八百二十六圓廿錢減じたり此原因は日本人振出の減少せし結果にして全部の數に於て日韓人の部合は韓人六部日本人四部なり韓人は多數なるも振出金少額なるが爲め口數に於て增加せしも金額に於ては日人の振出減少の結果總計に於て減少を見る而して拂渡しに對しては昨四十二年七月口數二千二百三十四件金額三万八千二百二十一圓三十錢本年七月口數二千八百五十五件金額四萬八千七百三十八圓五錢にして口數に於て六百二十一件金額に於て一萬五百六圓七十五錢の增加を見る是れを日韓人に分てば日人二部韓人八分となり地方韓人の通信機關を利用する多きが爲め中央に於ける拂渡しを多からしむるに至る斯る狀況なれば漸次韓人の機關を利用するは喜ぶべき現象と云はざるを得ず又貯金に於ては近時著しき發達を來し漸く韓人に於て貯蓄の必要を感ずるに至りたる結果なり四十二年七月中に於ける貯金度數は千二十八度金額四千七百十七圓八十八錢にして四十三年七月中度數は千三百一度金額七千五百二十七圓となり即ち二百七十三度金額二千八百九圓十二錢を增加せり是れを日韓人に別てば日人八部韓人二部なり此以外に於て殆んど全部韓人なる切手貯金あり是を比較するに四十二年七月八十度金額二十四圓九十錢四十三年七月三百七十六度金額七十圓六十錢にして此種の貯金は學童にして從來買喰ひに費消せる零碎の金も切手貯金臺紙に代ね貯金するに至りたるが爲め斯くの如き結果を呈せり今後に於ては一層增加するに至るべし然して貯金拂戾は四十二年七月二百九十八度金額五千百七十二圓十五錢二厘四十三年七月三百八十三度此金額六千十一圓十四錢四厘にして是れを日韓人に別てば日人六分韓人四分なり斯く本年に於て拂戾の多きは全く預入れの多きが爲め自然の結果と云ふべし

●慈惠醫院の開院期　韓國に於ける慈惠醫院は從來三箇所の設立ありしのみにて不便勘からざるを以て曩きに各道を通じて十箇所の新設を見るに至りしが今其の開院期に就き聞く處によれば醫師の任命は茲三四日中に發表さるゝ筈にて其の結果醫院を開院すべく而して開院期は遲くも今月下旬若くは來月上旬なるべく尙ほ醫院には經費其の他の都合上可成く在來の家屋を使用する由

●練習艦今後の航程　仁川に碇泊中の練習艦隊旗艦淺間、笠置の兩艦は九日午前八時同港拔錨鎭海灣に航し更らに竹敷、佐世保、舞鶴、大湊、室蘭、津を經て九月十六日橫須賀に歸着其上にて第二期練習として南米方面に向け遠洋航海の首途に上る豫定也

●憲兵補助員の採用　京城憲兵第一分隊にては今回憲兵補助員を採用することゝなり七日志願者八十七名中より三十名を採用したるが此等は高安、金谷兩分遣所に於て三週間敎育する筈にて八日それ〲出發したり今回の志願者は相當身分ありて殊に日本語を能くする者多かりしと

●韓人元老連の敍位　八月五日付を以て左の通敍任ありたり

陞正一品上輔國　從一品永宣君　李埈鎔
陞正一品輔國　從一品侍從院卿　尹德榮
陞正一品輔國　從一品中樞院議長　金允植
陞從一品　正二品承寧府總管　趙民熙

●淺間艦上の茶話會　仁川に碇泊中の練習艦隊司令官八代六郎氏は昨八日午後四時在仁の重なる官民百數十名を旗艦淺間に招待して盛大なる茶話會を開きたり

●觀察道移轉の請願　太田居留民は同地の發展するに從ひ忠南觀察道が公州に在るを不便なりとし八月一日付を以て觀察道を太田に移轉せんことを內部大臣へ請願したり

●中樞院顧問の新任　前度支部大臣從一品勳一等任善準、前學部大臣從一品勳一等李載崐の兩氏は八月五日付中樞院顧問に任せられたり

●統監東拓重役招待　寺內統監は八日午後七時より宇佐川東拓總裁、吉原副總裁以下各重役を官邸に招待し晚餐會を開かるゝ筈

●豫備金支出の裁可　學部特別功勞賞與金二千五百圓を豫備金中より支出の議內閣會議を經て上奏の上御裁可となれり

●仁川醫會の講演會　仁川醫會は八日午後八時より歌舞伎座に於て衞生講話會を催ふし市內の各開業醫は獨得の演題の下に講演あり

●曾木賢彥氏入京　中央新聞政治外交部長曾木賢彥氏は政況視察として特派せられ一昨六日夜入京旭町二丁目韓國銀行員吉田氏方に投宿當分滯在の筈

●韓國通覽の改版　農商工部は曩に出版せる韓國通覽を改版し更に最近の事項を網羅すべく材料蒐集中なりと

●鵜崎熊吉氏來韓　每日電報記者鵜崎熊吉氏は韓國遊覽の爲七日入京大阪每日支局鵜崎氏方投宿一週間滯在の筈

●河合文學士囑託　東洋協會學校講師の同氏は社寺古蹟調査を囑託せらる

●河北記者の入京　河北新報記者大山長資氏は政況視察の爲め六日入京す

KOREAN PENINSULA
AS VIEWED BY A FOREIGNER

外人の視たる半島（五）

一外人記述

▲汽車が釜山を發してから同乘者間は釜山港の將來談を以つて持切りであつた、一紳士は曰ふ、安奉線の改築鴨綠江の架橋工事にして成らんか、釜山は大連を制し鎭南浦仁川を壓倒して滿韓に於ける最大なる世界的呑吐港となるならんと、余は此紳士の誇大夢想的意見に驚かされた、併し同時に其謬見を氣の毒に思つてトランシツト、ポートのソンナに有望にあらざることを說いた。

▲果然右の紳士は釜山のリアルエステートにインテレストを有する人なることを知つて、イツコも同じ人情、親の眼に映ずる娘の顏は天下一の美人であることを知つた

▲食堂車に入れば之は亦何たる事か半島は良牛の產地なるに、ビステキの硬い事と云つたら、チエケン、玉子其外何でもマヅイ事と云つたら、サアビスの惡い事と云つたら、ソウして價の高い事と云つたら蓋し歐亞大陸食堂車中の冠たるものであらう。

▲午後八時南大門ステーションに着いた、幸にホテルからの迎へが來て居た、余は列車を離れ步してブリツヂを渡り改札口へ出たが、此間の混雜と云つたら名狀すべからずだ、丁度モオセに連られて埃及を逃れ出てたイスライル人も斯くやと思はれた位だ、釜山に大停車場が要れば南大門にも要る、ミストル、オーヤはドウ考へて居るか。

▲ボータアの指圖でリキシヨーへ乘つた、後押を附けて其走ること矢の如しだ、トロコが途中で進行を止むべく餘儀なくされた、僅か二十呎幅の街路に電車が走る、郵便車がカケル、無數のリキシヨー、荷車、角の長いソウして荷を山に負つた駄牛等動きが取れずにブロツケードをして居る、ソコへ無數の男女老幼の徒步者が來た、今にも人命問題が起りソウだ、聞けば先日も死人怪我人があつたソウだ、余は慄然として車上から此光景を眺めた。

▲東洋の旅行が命懸だと聞くことは每度であるが統監府所在の首都にコンナ不知親があるとは甚だ不名譽な事だ、シテートラフキツクが增したら街路も擴げたら良かろう、官憲はマサカ盲目ではあるまい

▲併し五年前と今の南大門とを思較べては愉快に感ぜざるを得ない、ウオルが取除かれ、電燈が點せられ、新式のポリスボツクスが建てられ、自働電話が置かれ、聊かながら草木が植込まれ、宛然之れパブリツクスクオヤーになつた、之れで見ると官憲も萬更眠つて居る譯でもなさソウだ

仁川臨津江間航路

臨津江に沿ふ高浪浦は有名なる長湍大豆の集散地にして籾雜穀及薪炭の如きも多く此地に於て集散せらるゝも從來仁川に移出せらるゝ輸出向大豆、籾、其他の貨物は吃水淺き川舟の便を以て輸送せられ動もすれば日時を要し爲めに仁川着荷の場合は既に相場の變動を生じ居り買出商人は頗る不便を感ずる所なりしに今回高浪浦在住日本人某々等出資して石油發動汽船を新造し高浪浦を基點とし紋山、日串を經て仁川に至る航海を爲し主として川舟の曳船を爲すと共に旅客貨物の輸送を爲すことゝなり既に新造發動機船も仁川に到着したるを以て愈々事業に着手すべしと云ふ而して高浪浦に集散する移出入貨物は大畧左記の如くにして品名價格を詳記すれば

移出貨物に在ては

大豆	一五〇、〇〇〇石	六〇〇、〇〇〇圓
籾	二〇〇、〇〇〇石	一〇〇〇、〇〇〇圓
小豆、粟		
其他雜穀	九、五〇〇石	五四、〇〇〇圓
木炭	六〇〇、〇〇〇貫	一八〇、〇〇〇圓
薪	九〇〇、〇〇〇貫	二七、〇〇〇圓
韓人用煙草	一〇、〇〇〇駄	一〇〇、〇〇〇圓
木材		五〇、〇〇〇圓
雜品		四、〇〇〇圓

又移入貨物に在ては

食鹽	六〇、〇〇〇石	六〇、〇〇〇圓
石油	六、〇〇〇函	三八、〇〇〇圓
燐寸		三、〇〇〇圓
金巾及木綿		三〇、〇〇〇圓
綿糸		一〇、〇〇〇圓
織物		一五、〇〇〇圓
海產物		三〇、〇〇〇圓

にして前記集散貨物中の凡を五十分の一を輸出するものと見込穀類は一石に付仁川迄運賃二十錢、石油一函仁川より運賃八錢五厘位の割合にて一ヶ月十五航海の豫定なりと（關稅局調査）

日韓瓦斯決算

日韓瓦斯電氣株式會社今期決算結果は七日を以て監査を終了せるが今其總收入及支出を聞くに左の如し

總收入	金二十萬八千四百八十八圓
總支出	金十五萬千五百七十四圓
差引	
純益金	金五萬六千九百十四圓
前期繰越	七千百四十九圓
計	金六万四千〇六十三圓

以上の內八千三百七十一圓を後期へ繰越し殘餘を積立金株主配當及其他に處分する筈なり而して配當は年六步に內定し九日重役會議に付すべしと尙ほ總收入は電燈料最上位を占め次は電車收入及瓦斯販賣料なりと云ふ

●兩魚市場合併交涉　京城水產會社市場及日の丸市場は相互激烈なる競爭を試み兩者の關係は殆んど犬猿も啻ならざる讎敵を極め居るが之が爲めに兩市場とも常に多大の損失を蒙り其維持經營頗る困難なるが如し而して水產會社は資本金六萬圓を擁し重役は山口太兵衞、前田熊市等の諸氏なるが創立以來每期の決算を見るに嘗つて一厘の利益配當をも爲し得ざる有樣にあり又日の丸市場は香椎源太郎氏の經營に係り設立日尙ほ淺きも如上競爭の爲め是亦非常の窮狀に在り故に此際無益の競爭を避くる爲め兩市場を合併し併せて其事業を擴張し韓人向の魚類をも取扱はんと欲し沖津戶十郎氏此間に立ち斡旋する處あり其結果香椎氏代理吉田利太郎氏釜山より上京し山口氏宅にて目下交涉中なりと云ふ

●八代司令官等入京　仁川入港中の練習艦隊司令官海軍少將八代六郎氏以下田中大佐、山路大佐、山本少佐、長谷川大尉、小池大尉、山口大尉、今村大尉の諸氏は七日仁川より入京天眞樓へ投宿せり

●三大臣の仁川行き　閔宮內府大臣、朴內部大臣、趙農商工部大臣の三氏は目下仁川入港中の練習艦隊より招待せられ八日正午南大門發同地へ赴き即日歸京したり

●宇佐美次官の出張　宇佐美內部次官は水源地視察調査の爲め八日屬官を從へ纛島附近に出張せり

▲龍山雜信▼

▲湖南線工事は先頃既に太田に建設事務所を設置され又近く同事務所所屬吏員の舍宅を建築されるなど準備に忙はしき模樣なるが愈々線路工事に着手さるゝは多分十月頃ならんと

▲去年の此頃の龍山は今年に比して氷屋の數餘程多かりし今年は暑さ間の際物商にすら手出しするものゝ少き迄に

▲治外法權▼

或官邊某曰く寺內統監は小心翼々極めて謹嚴なる遵法者のみ、而して其趣味を論ずれば東洋豪傑風にあらずして寧ろ一種の老高襟者流と云ふを妨げず▲されば其政策たるや、逐一軌道を蹈み、敢て奇想天外より落つるが如きことなきは吾人が敢て之を保證するを憚らざる所なりさす云々▲今の世は何事を爲すにもモハヤ東洋流の豪傑ではダメダ、ヨシ大西鄕再び世に現はるとも何事を成し得んやだ、況んや西鄕以下の其又以下の群小豪傑輩に於てをやだ▲尤も高襟とて一概に歡迎する譯には行かぬ、其吹けば飛ぶ樣なる輩に至つては東洋流の豪傑にも劣れりだ、併し高襟の醇なる者、語を換へて云へば老實せる高襟寺內統監の如きにして始めて大事を托するに足るだ▲獨り寺內のみならず、我邦現在の大政治家は大隈を始め桂、西園寺、其他の諸人皆蘇峰の云ふ老高襟だ、老高襟の見識や萬事が世界的だ、世界的で始めて列國と馳驅することが出來る▲イツヅヤ當地に來たことのあるロングオース夫人（ルーズベルトの娘）に向つて米國ヂプラスカ洲の基督敎會は連合して喫煙を廢せんことを勸告することに決したソウだ、而して其理由は同夫人の如き上流の婦人が喫煙をなすは社會に惡影響を及ぼすと云ふにあるのだソウだ▲米國婦人と云へば轉婆の標本の樣に云はれて居るがタバコさへ自由に吸ふ事の出來ぬ境遇に在るのだ、中々轉婆どころの話ヂヤやない▲報知新聞の南極探險費募集は意外の好成績でモハヤ豫定額以上に達して居る、世間の白瀨中尉に對する同情は之れで知ることが出來る▲日本の政友會が當地に機關新聞を作ると云ふ噂がある、朝鮮問題研究會とやらも亦近々其機關紙を當地に作ると云ふ噂がある、何の必要があつての事か。

▲京城手形交換高▼

八月	金高	枚數
八日	七三、八二八、〇四	五三五

流通資金の大別

目下韓全國の金融機關が運轉せしめつゝある資金は約五千万圓にして此內一千五百萬圓預金、二千萬圓各銀行の資本金及政府貸下金、一千二百万圓銀行券發行高なるが是等の金は如何なる方面に流動し居れるやと云ふに三百萬圓は土地建物及有價證券に一千八百五十万圓貸出金、一千百五十萬圓貨幣整理資金、九百万圓法定別途貸付金に五百萬圓正貨準備に其他は遊金なりと云ふ

●京城諸工事と勞銀　龍山統監官邸、內部廳舍、韓國銀行、三井物產出張所等の新築工事並に度支部の增築工事等は引續き着々進捗しつゝあり高等女學校の土工事も先月より着手され其他諸官舍及官宅修繕、建增、橋梁下水の修繕等もあれども瑣々たる小工事に過ぎず隨つて大工、左官、煉瓦積等の勞働者は前年に比し一般に何は閑散の方にて從來農繁季節に際しては韓人夫の如き兎角缺乏せるに本年は斯る事態なくして經過するを得たり因に韓國に於ける建築費は材料高乃至勞銀高の關係より內地に比し概して五割方高位に在るを免れざりしが今や材料は內地に於ける問屋、仲買等の手を經由せず總て直接產地より取寄する等努めて材料費の低減を料り居り單に勞銀が依然幾分上位に在るのみなれば最早五割高は最早減じて三割高位に至れりと

●玉利農學博士入京　玉利農學博士は七日午後十二時三十五分南大門著列車にて水原より入京せり

●[illegible]人

▲藤齋勇三（平壤鑛業所海軍主計監）七日平壤より入京浦尾へ
▲吉本淨（憲兵中尉）七日入京浦尾へ
▲永瀧久吉（關島領事）七日釜山へ
▲中山嵐雄（尉護官）七日大邱へ

流通資金の大別

日韓人間の關係

勝利拍子の行衛

▽仁川淺間の逃亡藝妓勝利が先月掻き消す由は當時の紙上にて……更らに行衛を知らず三面子は茲に端を突き止むるを……

扨其の藝妓淫賣官舍に飛び込んで奥樣になつたからとて何んにも珍らしがるには當らぬが僅か二十五圓の前借の仕拂が男に入れ揚げた爲めに四ヶ年間掛つたと云ふのは龍山北海樓の政子と云ふ女なり此の妓三度の御飯は頂かないでも男があれば生きて行くに充分と云ふ程の好色者にて村の若い衆だけでは物足らず下女奉公を托けに二十一の春渡韓し前記北海樓に棲み込みチョイヨロ主義に發展中龍山印刷局技手の阿久津某と深くなり末は夫婦の約束から一緒になつた曉の家の圖面迄引いて樂んで居たも商賣柄他にも好いのがある譯なので阿久津スコ妬けの犬も食はない喧嘩に今は太平町の或る料理店に仕みかへた仲居の某に度々仲裁の手數を掛けたものなるが此の頃に至り北海樓では政子が四年も働いて呉れたからと云ふので殘る借金へ棒を引き熨斗を附けて阿久津に進上に及んだは眞赤い色のいゝさるげつ下旬の事にて爾來政子丸髷姿初々しく官舍の長火鉢の向ふに鎭座ましませるが何分宿六は不在勝なれば此の辛棒何時まで續くかしらと親切らしい法界妬氣をしてるものあり

天草丸と國技館

▽相撲協會取締役友綱の談　滿洲を巡業し彼の旅順戰役に當地及び滿洲を巡業したる爲め鐵嶺丸の死者追悼興行をなしたる東京大角力一行中の取締役友綱は旅勞れ保養の爲め三日相州湯ヶ原温泉に向ひたるが其の大連興行中支那人の洗濯屋が來たから我れも我もと洗濯を賴むと何時まで經つても洗つて來ぬ遂に奪られ損になるなど隨分物騷で木戸錢なども或筋からの注意で受取ると共に年寄の懐に入れる事にしたが失れを持つて旅館へ歸るまでは心配なりし打揚後は鐵嶺丸に乘る積りで既に切符まで買つたのが急に旅順戰死者追悼興行をしたゝめ次の天草丸に乘つたのは勿怪の幸で天草丸も七月廿五日午前三時頃濃霧の爲め咫尺を辨せず嘉義丸に衝突しかけて危機一髮の間に擦れ違つたのは是亦我々に取つては好運

業者營業停止

……々檢擧されん言を以て無智の者に從はしめ浮ふし遊客の懐中をしめ料理店中には……すものあるは公署にては此の惡夥一洗に努力し其の手初めとして長谷川町大坂屋事小林菊藏本町一丁目裏通り立盛舍事宮原增太郎南山町四丁目定屋久保田サダノ明治町明治屋事西部泰吉南大門通り三丁目二十二番戸料理屋濟月樓渡邊きよの六人に對し營業停止を命じたるが尚ほ此際如斯惡蟲は續々罰するを以て若し事實を探聞したる場合は南部署に密告せられたしと

●旭町の火事騒ぎ　一昨七日午後九時五十分頃旭町一丁目三十番戸米穀商森畆市方二階より失火したるも大事に至らずして消止めたるが聞く所によれば同家二階六疊敷に田中榮市なる者同居し居るより畆市の妻きくは二階にランプを點じ寢床を敷き蚊帳を釣置きしに榮市は午後九時四十五分頃歸宅し二階に登りしに火は蒲團に燃え移り蚊帳の如きは全燒けになり居り正に天井に移らんとするを發見し火事〳〵と大聲を發したるより附近の者馳せ付け消し止め鎭火せしが損害は約六十圓にして旭町一丁目大工淺見房吉（三五）及び歌舞伎座舞臺方岸淺夫（三三）兩名は消防に從事中硝子の破片を踏み左足に輕傷を負ひたりと

●扨々困つた男哉　古市町百十八番戸櫻井安平方雇人竹林常次（二二）は友人黒川金次郎なる者と去る六日午後九時頃中之新地日の出亭に登樓し飲や歌への大散財の揚句五圓八十錢の計算に突き付けられ兩人共懷中無一厘にて仲居酌婦連は幇間や樓主に責められ嚴しく催促するに持たぬ金は拂へぬので黒川は金策と稱し出でたる儘歸り來らざるより無錢遊興者として西部署に告訴せしより竹林は引致せられ目下取調中

●懲役一年六ヶ月　滋賀縣人當時古市町十一番戸磯部茂吉（二八）が本年五月二十八日の夜旭町一丁目泰永富太郎方に忍入り銀側時計一個（代八圓）を窃取し外十個所に於て金品を窃取し或は横領したること發覺し南部署刑事に檢擧せられ檢事局に送られし事は既報の通りなるが京城地方裁判所に於て去る六日懲役一年六箇月に處せらる

●谷川三藏の控訴　奸物谷川三藏の私印私書僞造行使詐欺取財遊に贈賄取被告事件は欺詐及私書僞造騙取の犯罪の點は無罪とし私印私書僞造罪として懲役六箇月に處せられたる事は既報の通りなるが掛り官兩角檢事之に對し控訴せしは當然ならんも被告谷川は不埒にも該判決に不服控訴したりと云ふ

●若い者の面汚し　兵庫縣平民當時若草町一丁目九十一番戸魚商津田軍二（三五）は七日午後十一時頃明治町二丁目料理店三樹屋雅林みや方に登樓し翌八日午前二時迄頃に費消したる一圓五十錢の計算出來ず南部署に突き出され八日午後十時迄に調金支拂ふ事になり放免せらる

●醜吏の再審期日　民團公金費消事件の醜吏末廣幸作外五人は第一審判決に服せずして控訴せし事は既報の如くなるが目下京城控訴院草場檢事の手にて記録取調中なれば公判期日は暑中休暇後即ち九月十日以後ならんと

●阿片吸飲者引致　西部西大門外華山坊金光洙（五十）は去る七日南部上茶洞六統三戸朴武景方にて阿片を吸飲したる事銅峴分署の刑事に探知せられ目下取調中

●コナ不孝者奴　西部餘慶坊毛橋朴泰源（三三）は酩酊して實母の頭部を毆打し輕傷を負せたるより西部署に引致目下取調中なりと

●死産胎兒の遺棄　西部仁達坊松木洞に嬰兒の死体棄てあるを發見し西部署に於て檢視したるに死産せしを棄てたる者と鑑定せられ洞長をして假埋葬せしめたりと

●竊盜　仁川濱町二丁目英米煙草會社ヒルップ方の留守宅に賊忍入り舶來の白毛布一枚（十五圓）を窃取せられたる旨一昨日其筋に届出づ

●遺失　仁川宮町二丁目川口直吉は一昨日稅關より同町間に於て縫取絹地掛軸を遺失したる旨其筋に届出づ

目と耳

▲壽座　同座九日の代り狂言は『五大力富五郎』にして役割左の如し　五大力富五郎（美高）鶴屋源道、藤巻道十郎（尾之吉）白瀧女房れゑん、子分淺吉　小天狗七之助、子分（福司）富五郎妻れみつ、子分（照代）小金井娘やよい、子分（花尾）せげ、子分（金福）役人、（壽々子）役人彌十郎、女郎屋の亭主（福吉）茶店の娘、女中花子、乾分（美代丸）源氏節出語り（美家登司）

▲浪花館　九日廣八一座の代り番組　御祝儀寳の入船（入登）たこま才三鈴が森の段（廣吉）三勝平七酒屋の段（越濱）玉藻前三段目（此重）阿波の鳴門順禮歌の段（此千代）太功記十段目（仙春）れそめ久松野崎村の段（兩照）安達原三段（越春）三十三間堂平太郎住家段（廣八）大功忠臣藏三段目（捻掛合）三味線 仙平）

日比野雷風來る

▽九日午後七時より開場　曾て來城したることある神刀流祖日比野雷風は過般來九州地方巡回中なりしが今回當地の某々等の勸誘に應じ惰氣覺醒の爲め一劍高く秋風を斷つて七日入城し九日より歌舞伎座に假道場を開き午後七時より開場日比野一流の劍武眞劍試合をなすと云ふ

●アイスクリーム　南山町三丁目川西商店隣のビヤホールにては氷、アイスクリーム杯の開業をなせしがアイスクリームは特に原料を選み製造する由にて頗る好味なりと

●玉利農學博士入京　七日午後十二時二十五分……

▲平民文壇▼

▲一つ物の速力を書こう人の血液の循環は一秒間に二寸六分で神經が十八間だ音響か三丁と四間に鐵砲彈が六丁二十五間だと軟風が一分間に一丁五十五間に颶風が十六丁だろうな飛行船「ツエッペリン」式が一時間に十六里で「ブレリオ」式が其十六分の二十だ又流行品は一時の「ハヤリ」「八八里」で八八六十四里とは文藝倶樂部で見たので光陰は矢の如く時節は流るゝが如しとは「チーチヤ」が敎へた、そして貴社發展の速力は重荷を擔ふて遠き道を行くが如しにて小僧君に異存はあるまいか（はの字）▲本社發展の速力を重荷を負ふて遠き道を行くが如しは揶揄し得て輕妙なり（小僧）▲彼の惡料理店吉田屋は營業停止となつた相だ氣の毒だが仕方がながらう（近所の人）▲韓國に居る官吏の俸給は高い〳〵と君等は常に云ふが君等の月俸は何うだ内地に居れば七八圓位の探訪小僧さへ當地では十五六圓や二十圓位は貰らつて居るだらう論より證據内地で一錢の價もない新聞が當地では二錢や二錢五厘に賣りて居るではないか總て價の高いのは新開地に於ける一般の經濟的狀態だ（一官吏）▲内地に居れば七八圓位の探訪とは何を標準に云ふのか左樣云ふ時代は若しあつたとすれば五六年も前のことだ職に放れた人間がウヨ〳〵して居る今日には通用せぬ引例だよ、論より證據云々の下文は理窟が貫らん頁數から云ふのか字數から云ふのか要するに君の如き貫目で新聞を讀む連中だナ（小僧）▲「云ふまじと思へど今日の暑さ哉」風の通らぬ處での執務はほんとに行り切れないね岡崎專務君一つ煽風器を貸與し電力を供給しては如何鬼が笑ふか知らぬが來年は是非一つ願ひ度い（春部）▲警察は小料理屋を見回はりして最下……

今日の運勢

八月九日　舊七月四日　六白　佛滅　丙午　開　△一白　運日なり業務進んで吉　保證世話事多し　△二黑　談共同連盟の事談に吉　酒色の破れを戒しむ　△三碧　療病衛生に留意すべし新事旅行見合せの事　△四綠　金品授受賣買取引貸借間違錯誤あり爭論防ぐべし　△五黃　不圖利得を逸することあり他は平靜の日　△六白　印章證劵の事故障多し尚盜害紛爭避くべし　△七赤　新事見合せの事爭論の端を惹起し易し酒色の害を戒しむ　△八白　家畜從者子孫の事注意すべし尚無心懸願依賴にわふあり　△九紫　金錢若くは他人の身上の世話心痛事あり盜失防ぐべし（本町五丁目三一館判斷）

●天氣豫報（自八日午後六時至九日午後六時）　北東風晴後曇

七日（華氏）　最高溫度 八三、一　最低溫度 六八、四

紙と印刷

諸紙 和洋紙簿 印刷 各種製本

諸官衙御用 播本（ハリモト）商店

京城本町六丁目 電話百拾番

きゝめのある温泉湯

此の温泉は左の如き病に最も効なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひせん、梅毒、りん病、よこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、ぜんき、腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を併用すれば尤も効能あり

貸席

京城本町一丁目郵便局前

鐵冷温泉

電話千四百十一番

統監府及諸官衙御用

荷物運搬 引越荷物受負

伊藤組

電話四〇番 電話七三二番 電話九四八番 電話一六〇八番

本町三 南大門驛 大和町 同第二

旅館

京城南山町三丁目

京城ホテル

電話長一二三番 四九二番

日本室和食

特等（三圓五十錢） 一等（二圓五十錢） 二等（一圓八十錢） 三等（一圓六十錢 一圓五十錢）

貨物運送取扱 關稅貨物取扱

危險擔保附運送品 代金付貨物運送 貨物引換證發行

内國通運株式會社

京城南大門驛前 京城支店 電話七〇八番 電話一七九番

仁川驛前 仁川出張所 電話五一番

草梁驛前 釜山出張所 釜山驛前電話六二六番 草梁驛前電話五三七番

龍山驛構内 龍山出張所 電話二〇六番

無比勉強

かや わた

關戸蚊帳 株式會社韓國代理店

呉服 太物 洋反 蒲團 調進

京城明治町一丁目

唐川商店

電話二六一番

新案特許製綿韓國一手特約店

東京足袋

本店東京

京城大和町一丁目（日の出橋際）

大和屋 藤井出張店

明治町勸商場内ニモ出張店アリ

電話二百〇五番

正札付大安賣座毛引なし安心して買へ升

金錢貸借 電話讓渡 土地家屋老舖賣買 人事百般其他

京城明治町一丁目勸商場前（電話一二九八）

周旋業 明治屋

暑中御伺

弊社東大門製造所新築工場も略ば竣成しました……先頃來各地販賣店側より韓國葉を混和せる極低廉の卷煙草を製出する樣の希望が屢々ありましたが何分弊社の製造に就ては日本政府の嚴格なる特命があり

日本官製煙草

純良トルコ葉製 アルマ

新製品 ウエルス 大和 朝日 ハーチービー ピーバー

不二 山櫻 敷島

東亞煙草株式會社

韓葉などを混用し又は現在官烟以外のものを製造するには特別に其筋の許可を得たる後にあらざれば着手することが出來ず且つ目下大和、朝日の製造に逐はれて居りますが併し夫々準備中なれば不遠製出して御希望に副ひ得らるゝことと存ます

日本官製煙草滿韓一手販賣特許

韓國總販賣所

京城明治町一丁目

京城販賣所　釜山販賣所

仁川販賣所　平壤販賣所　元山販賣所

釜山元賣捌所　内山直己　迫間房太郎　村上元次郎　山田惣七郎　松前才助

木浦元賣捌所　福田又支店　村上直助　松前支店

馬山元賣捌所　濱田七十郎

大邱元賣捌所　松前支店　村上出張所

元山元賣捌所　渡邊宇三郎　横山喜太郎　鑑谷愛介

清津元賣捌所　植竹商店　龍谷支店　渡邊支店

城津元賣捌所　迫間支店

羅南元賣捌所　横山支店

群山元賣捌所　福田又支店　岡部商店　中柴商店

仁川元賣捌所　河野竹之助　貞安吉　鈴木倉俵　鬼頭次郎　渡邊友太郎

京城元賣捌所　森久兵衛　高木彌　諸田熊市　久保田虎助　三兵商會　福田又支店

平壤元賣捌所　伊藤佐七　板倉釜太郎　河野支店　森久支店　鬼頭支店　龜屋支店

鎭南浦元賣捌所　伊藤支店　河野支店　鬼頭支店

新義州元賣捌所　松隈商會

太田特約販賣店　田原商店

新幕特約販賣店　高木支店

開城特約販賣店　官製烟草開城組合

京城和生町南門通横（電話一二九四番）

自午前八時 至午後九時

京城梅毒病院

花柳病專門 附、痔疾一般

入院隨意

院長 醫學得業士 蘆田耕平

御待合 紅葉

南大門通三丁目光宣門側

電話一三八二番

本院は毎日（日曜及祭日を除く外）午前九時より午後四時迄各專門醫に診療を依囑す

但松村先生の診療時間は午前九時より正午迄とす 和田先生の診療時間は午後二時より

京城居留民團囑托

龍山榮町文平山麓

龍山醫院

（電話六〇三）

京城本町四丁目

印章彫刻 ゴム印彫刻

赤帽子號印舖

諸官衙御用達

奥野岩太郎

電話九三番

味噌醬油製造元 漬物問屋

時約販賣自製

京城本町五丁目

大上商店

（電話二五一番）

ビール 新茶 大賣出し

當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外預金貸金爲替等普通銀行の業務を精々確實親切に取扱申候

支店出張所 仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、安東縣、新義州、

爲替取引先

日本 東京、京都、大阪、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大阪西區、松山、廣島、長崎、

韓國 公州、光州、晉州、全州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊、義州、咸興、

清國 大連、遼陽、旅順口、奉天、鐵嶺、長春、牛莊、天津、北京、漢口、上海、

其他外國 香港、桑港、紐育、龍動、巴里、里昂、

韓國銀行

諸官衙御用

營業科目

和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸雜料類

委託販賣

東京ランバーゾ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目（電話二三〇番）

出張所 東京京橋區南鍋町一丁目 東京電話新橋三六九二

資本金 一千萬圓
積立金 五百七十五萬圓

明治六年設立

京城南山三丁目

株式會社第一銀行京城支店

電話一一番 六一一番
振替貯金口座韓國一一一番

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

廣告

前間恭作氏著

韓語通

定價壹圓五十錢 郵稅十錢

今回貳千部に限り壹圓廿五錢にて販賣可致候間御注文の程奉希候

和洋金物商

韓國京城本町五丁目

釘本藤次郎本店

長電話四五番東價略號（ク）
振替貯金口座韓國（二五六）

登錄商標

天下一品

清酢飛梅印

釀造元 尾道市 野間直兵衛

特約店

京城本町四丁目 前田商店 電話一三七番

同五丁目 大上商店 電話二五一番